

学科到達目標

科目区分	授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
					1年				2年				3年				4年						5年			
					前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
専門	必修	都市・環境工学概論	履修単位	2	2	2																	亀野辰三, 教育支援係			
専門	必修	実験実習 I	履修単位	4	4	4																	工藤宗治, 名野晴暢, 横田恭平, 教育支援係			
専門	必修	プログラミング基礎	履修単位	2			2	2															前 稔文			
専門	必修	測量学	履修単位	2			2	2															田中 孝典			
専門	必修	建設工学基礎	履修単位	1				2															名木野晴暢			
専門	必修	実験実習 II	履修単位	4			4	4															亀野辰三, 一宮一夫, 田中孝典, 前 稔文			
専門	必修	基礎生物化学	履修単位	2					2	2													横田恭平, 古川隼士			
専門	必修	応用物理	履修単位	2					2	2													教育支援係			
専門	必修	構造力学 I	履修単位	4					4	4													名木野晴暢			
専門	必修	土質力学 I	履修単位	4					4	4													佐野 博昭			
専門	必修	水理学 I	履修単位	4					4	4													東野 誠			
専門	必修	実験実習 III	履修単位	4					4	4													佐野博昭, 一宮一夫, 工藤宗治, 横田恭平			
専門	必修	情報処理	履修単位	1											2								前 稔文			
専門	必修	応用数学 I	履修単位	2									2	2									教育支援係			
専門	必修	応用数学 II	履修単位	2									2	2									名木野晴暢			
専門	必修	海洋物理	履修単位	1									2										東野 誠			
専門	必修	海洋科学	履修単位	1									2										教育支援係			
専門	必修	構造力学 II	履修単位	2									2	2									前 稔文			
専門	必修	土質力学 II	履修単位	2									2	2									工藤 宗治			
専門	必修	水理学 II	履修単位	2										4									東野 誠			
専門	必修	建設材料学	履修単位	1											2								一宮 一夫			

大分工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)	授業科目	プログラミング基礎
科目基礎情報					
科目番号	0001		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	都市・環境工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	中村隆一, 「学生のための詳解C」, 東京電機大学出版局				
担当教員	前 稔文				
到達目標					
(1) プログラム言語の利用法について理解し, プログラミングに関する基礎力を身につける。 (2) 授業項目に関連した諸現象のアルゴリズムと流れ図について理解できる。 (3) 授業項目に関連した項目について, その本質が理解できる。【例: 関数の引数の意味】 (4) 継続的な学習と小テストにより理解を深め, 簡単なデータ処理方法について説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1					
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1年生で学んだ「情報処理演習」を基礎にして, C言語による「基礎プログラミング技術」の習得を講義と小テストで行う。プログラミング文法を理解し, 情報処理によって問題解決ができる能力を身につける。.				
授業の進め方・方法					
注意点	プログラミングは情報処理教科の前提となる教科であり, 実験実習(情報処理演習)の内容と深く関わるので, 平日頃から十分復習すること。 小テストは返却し説明をしますので, 大事な点を書き込み整理してファイリングしておくこと。				
評価					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	プログラミングの概要 プログラム作成手順	プログラム作成における基礎および操作の流れを理解できる。	
		2週	構造化プログラム	プログラム作成における基礎および操作の流れを理解できる。	
		3週	構造化プログラム	プログラム作成における基礎および操作の流れを理解できる。	
		4週	入出力と計算 データの出力	データの入出力方法を理解できる。	
		5週	入出力と計算 データの出力	データを演算や加工して価値のある情報として出力できる。	
		6週	式の計算	データを演算や加工して価値のある情報として出力できる。	
		7週	復習 I	学習内容を深めることができる。	
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	試験の解答と解説 if文	わからなかった部分を理解する。 制御文を使用できる。	
		10週	if~else文	制御文を使用することで, 複雑なプログラム処理ができる。	
		11週	if~else文	「条件式とその評価」についての正確な意味を理解できる。	
		12週	for文	反復処理を使った実用的なプログラミングができる。	
		13週	while文 do~while文	反復処理を使った実用的なプログラミングができる。	
		14週	復習 II	学習内容を深めることができる。	
		15週	前期期末試験		
		16週	前期期末試験の解答と解説	わからなかった部分を把握し理解する。	
後期	3rdQ	1週	1次元配列	配列の基本的な操作を理解できる。	
		2週	1次元配列	特殊な文字列の扱いが理解できる。	
		3週	2次元配列	2次元配列の基本的な操作ができる。	
		4週	2次元配列	2次元配列の基本的な操作ができる。	
		5週	文字列の処理	文字列を用いたプログラミングができる。	
		6週	文字列の処理	文字列を用いたプログラミングができる。	
		7週	復習 III	学習内容を深めることができる。	
		8週	後期中間試験		
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説 簡単な関数	わからなかった部分を理解する。 入力(呼び出し) - 機能(事) - 出力(戻り)の各部に分けて考えることができる。	
		10週	引数をもつ関数(値により呼び出し)	入力(呼び出し) - 機能(事) - 出力(戻り)の各部に分けて考えることができる。	
		11週	戻り値をもつ関数	関数の基礎的なプログラミングができる。	

		12週	応用問題	これまで学習に加えて、さらに応用的なプログラミングができる。
		13週	応用問題	これまで学習に加えて、さらに応用的なプログラミングができる。
		14週	復習Ⅳ	学習内容を深めることができる。
		15週	後期期末試験	
		16週	後期期末試験の解答と解説	分からなかった部分を把握し理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	情報処理	いろいろなコンピュータの利用について説明できる。	2	
				アルゴリズムとフローチャートについて説明できる。	4	
				コンピュータを用いたデータ処理方法について説明でき、簡単なデータ処理ができる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

大分工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	建築学概論		
科目基礎情報								
科目番号	0017		科目区分	専門 / 選択				
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	都市・環境工学科		対象学年	5				
開設期	前期		週時間数	2				
教科書/教材								
担当教員	前 稔文							
到達目標								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1								
評価項目2								
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要								
授業の進め方・方法								
注意点								
評価								
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週						
		2週						
		3週						
		4週						
		5週						
		6週						
		7週						
	2ndQ	9週						
		10週						
		11週						
		12週						
		13週						
		14週						
		15週						
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	